



東急



BECAMEX TOKYU

2026年3月19日

ベトナム・ビンズン新都市において、ベカメックス東急が手掛ける
新たな高級分譲マンション「MIDORI PARK The TEN II」を3月19日に着工
好評シリーズの第2弾として戸数を増やし、快適で暮らしやすい住居を多くの方に提供します

東急株式会社
BECAMEX TOKYU CO., LTD.

東急株式会社とベカメックスグループの合弁会社で、ベトナム社会主義共和国・ホーチミン市北部・ビンズン新都市の開発を行うBECAMEX TOKYU CO., LTD.（以下、ベカメックス東急）は、同エリアにて新たな高級分譲マンション「MIDORI PARK The TEN II（ミドリパーク ザ・テン・ツー）」（以下、本物件）を2026年3月19日に着工しました。

本物件は総戸数374戸で、竣工・引渡は2028年を予定しています。第1弾の「MIDORI PARK The TEN」（総戸数300戸・2026年夏竣工予定）のシリーズ第2弾として戸数を増やした本物件は、より多くの居住者を受け入れ、第1弾の高級感を踏襲しながら、ファミリー層の暮らしやすさをより追求します。

第1弾の「MIDORI PARK The TEN」は、ビンズン新都市初の高級感あふれる上質な都市型分譲マンションとして「ゆとりあふれる上質で自然豊かな住空間」をコンセプトに、デザイン、共用施設の充実度の高さからベトナムおよび台湾を中心とした富裕層から高い評価を受けました。

第2弾の本物件はさらに、全面木材のフローリングを導入することで木の温かみを感じることができ、また天井埋込型エアコンを標準仕様にすることでリビングを広々と使いたいファミリー層の需要に応えます。また、“Wellness（ウェルネス）”をコンセプトに、単なる快適性にとどまらず、有害物質を抑えた設備や材質による心身の健康、空間的なゆとり、プライバシー性、自然との調和を重視した住空間を実現します。シネマルームやゴルフシミュレーションルーム、パーティールームなどを設け、居住者が住宅内で多彩なライフスタイルを楽しめる環境も整えています。

ビンズン新都市は2025年7月のベトナム行政再編に伴い誕生した新ホーチミン市における北部の中心拠点で、大学や研究機関などを集積させていく「科学技術都市」として再定義され、今後一層の都市機能の高度化が期待されています。さらに、ホーチミン市都市鉄道（メトロ）1号線延伸計画や環状線整備など、広域インフラ開発も加速しており、交通利便性向上も見込まれます。本物件は、こうした大きな外部環境の変化の中で台頭する若い起業家・実業家のファミリー層なども含めた新世代の高級分譲マンション需要に応えます。

ベカメックス東急はビンズン新都市で、現地の文化・慣習と融合したまちづくり「TOKYU Garden City」プロジェクトを推進しており、“SORA gardens Area”、“Hikari Area”、“MIDORI PARK Area”の3つの開発エリアを設けています。2025年12月に、本物件が位置する“MIDORI PARK”エリアの商業施設「MIDORI PARK SQUARE」のエリア拡張を行い、以前の5倍以上にあたる店舗総面積約5,000㎡となりました。イオン食品スーパーをはじめとする多様なテナントが入居することで生活利便性も高まっています。

東急およびベカメックス東急は、今後も「東急多摩田園都市」の開発で蓄積したノウハウを活かして、ビンズン新都市においてまちづくりを推進し、ビンズン新都市の発展に貢献していきます。



▲本物件外観イメージ

以上

【別紙】

■物件概要

物件名称	MIDORI PARK The TEN II (ミドリパーク ザ・テン・ツー)
敷地面積	約10,807㎡
建物用途	分譲マンション、一部商業
建物規模	地上14階建、計374戸
延床面積	約72,840㎡
専有面積	住宅:約37,275㎡ 商業:約949㎡
間取り	1ベッドルーム～3ベッドルーム ※最多間取りは2ベッドルーム
住宅専有面積	1戸あたり約56.7㎡～139.5㎡(予定) ※平均面積約100㎡ ※最上階ペントハウスを除く
共用部	シネマルーム、ゴルフシミュレーションルーム、パーティールーム、50mスイミングプール、ジム、ヨガルーム、屋外遊戯スペース、BBQスペースなど
工期	2026年3月～2028年上半(予定)
販売時期	2027年1月以降販売開始(予定)
販売価格	未定

■物件パース



▲専有部(イメージ)



▲ロビー(イメージ)



▲シネマルーム(イメージ)



▲ゴルフシミュレーションルーム(イメージ)

■起工式の様子

2026年3月19日に、行政関係者やパートナー企業、ご来賓にご出席いただき、起工式を開催しました。起工式では、東急株式会社取締役専務執行役員の藤原裕久がビンズン新都市は都市ビジョンのものとさらなる発展段階を迎えていることに触れ、「MIDORI PARK The TEN IIは、次世代のリーダーや起業家が集う住まいとして、ビンズン新都市の持続的な発展に貢献していきたい」と、スピーチを行いました。



▲起工式の様子

■ベカメックス東急のビンズン新都市内開発エリアと実績

ベカメックス東急は、2012年からホーチミン市北部のビンズン新都市(総面積1,000ha)において、住宅、商業施設、交通機関など、新都市開発を手掛けています。開発地を「TOKYU Garden City」と呼び、まちのコンセプトに「Always NEW!」というキーワードを掲げ、ベトナム国内において常に先進的な取り組みに挑戦し、持続的なまちづくりを進めています。



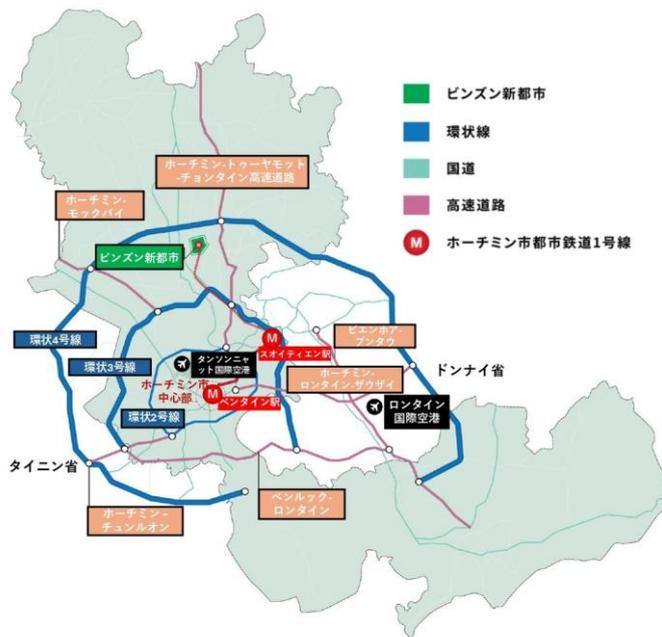
▲ビンズン新都市内の開発エリアイメージ



▲開発実績

■ビンズン新都市周辺のインフラ計画

2024年に開業したホーチミン市都市鉄道(メトロ)1号線(ベンタイン―スオイティエン)の延伸計画の沿線にビンズン新都市も含まれています。また、環状3号線・4号線道路の建設や、ホーチミン市中心部と旧ビンズン省の旧市街トゥーヤモット市や、さらに北のビンフック省チョンタイン市を結ぶ高速道路網の整備など、複数のインフラ事業が重なり合っており進められています。これらの計画により、ビンズン新都市は交通利便性向上と都市機能の高度化が期待されます。



【参考】

■ベカメックス東急 概要

名称	BECAMEX TOKYU CO., LTD. (ベカメックス東急)
代表者	社長 平田 周二(ひらた しゅうじ)
事業内容	不動産開発業・不動産販売業・不動産賃貸業
資本金	8兆6,000億ベトナムドン (約516億円) ※2026年3月16日付レート(1円は約0.006ベトナムドン)による
設立年月日	2012年3月1日
出資比率	東急株式会社 65% BECAMEX GROUP. 35%
ウェブサイト	https://tokyugardencity.com/ja/

以 上